



# 中西とも子の議会報告

●発行：箕面市議会・市民ネットワーク

〒562-0003 箕面市西小路4-6-1(市民ネットワーク控え室) 724-6787

## 6月議会（6/3～6/25）中間報告 国立循環器病研究センター誘致は吹田市に！

●6月11日(火)の総務常任委員会の席上で、市長が“最初から出来レースだった”と暴露！…何故、今になって？！

●「橋下大阪市長発言(「慰安婦」・「風俗」発言など)の取り消しを求める意見書案」が不採択に！…自民党、政友会(民主系)、大阪維新の会・箕面、公明党が反対

### 「国立循環器病研究センター誘致」とは…

同センターの老朽化や耐震化に伴い、誘致先候補に、箕面市のほか吹田市、茨木市、池田市がエントリー。その後、池田市と茨木市が撤退。「建替整備構想検討委員会」では箕面市の提案を評価したが、専門機関(三菱UFJリサーチ&コンサルティング、小原法律特許事務所)による移転用地取得の妥当性や可能性の調査では、箕面市の候補地は「早期の用地取得の実現性が低い」という報告内容となっていた。

約2年近くかけておこなわれてきた“国循の移転先誘致合戦”は、6月11日、吹田市に決定しました。

多大な労力をかけてこの誘致に力を注いできた箕面市にとっては非常に残念な結果となりました。

度重なるプレゼンテーションやヒアリングを繰り返し、担当職員のチームを編成して対応。当初の結果発表予定は1年近く先延ばしになりました。そしてようやく結論が下された格好です。取りくんでこられた職員の方々には、お疲れさまでしたと、心からねぎらいの言葉をかけたいと思います。しかし…

### ◆倉田市長は、総務常任委員会の席上これは出来レースだったと、突然、暴露！

誘致の件で2011年8月、(独)国立循環器病研究センター・企画戦略室長ほかが箕面市を訪れました。そこで、「周辺市町村に誘致意向を確認するよう厚労省から指示があったが、候補地は吹田の操車場跡地で決まっているので、辞退してほしい。これは形式的にまわっている。」というような会話ががあったというのです。この突然の表明に、委員会委員や出席者、傍聴者もビックリ！あまりのことに一同、啞然としました。

### ◆今頃何故?! 本当ならその時、抗議し、厚労省にも公正な審査を確約させるべきだったと中西は考えます!

最初からそのような不誠実な“取り引き”であると知りつつ、市民や議会、職員にも伏せたままで、誘致合戦に参加していたとは、驚くばかりです。

市長自らが事実を隠していたことを棚に上げて、今になって「こんなの公平・公正・透明性がない」というのは筋が違います。不正は即座に正し、臨

むべきだったと思います。

## ◆グリーンホールの建替え移転を検討中、という新聞発表も、議会に報告されずに方針決定!?

新聞報道では「1200人規模のコンサートホール」の建設を検討しているので、国循の誘致が不成立になったことで、北大阪急行の延伸には何ら影響はない、という市の見解が掲載されました。

この新聞報道の前日は総務常任委員会でした。この場でも、「船場東のまちづくりはどうなるのか」「国循が来なかった場合の核になる施設はどのように考えているのか」と質問しましたが、市は「基本的に船場繊維団地組合が中心となって決めるので、現在検討中だ」と答弁していました。

議会には明らかにせず、また市の中核をなす文化施設の移転については、市民を交えたしかるべき機関で協議・決定していくのが当然の進め方です。

市民・議会全体の声を聴かず、とにかく「箱もの建設まっしぐら」では、箕面の将来のまちづくりが危ぶまれます。

## ◆吹田市決定は、本当に不公平で、抗議すべき内容なのか?

吹田市決定が伝えられるや否や、市長は国立循環器病研究センターに抗議文を、厚生労働省には再考を求める申し入れ書を提出しました。

ここで、冷静に分析しなければならないことは、箕面市が国循側のリクエストに十分応えられず、用地確保の問題が指摘されている点です。

またパチンコ店の移転についても明確な回答ができていません。さらに周辺地域住民への説明や同意も得られていません。

箕面市民にとっては残念ですが、客観的にみれば、この決定は妥当ではないかと思われま

す。冷静な分析なき抗議は恥の上塗りだ、との声もあります。リセットして、今後のまちづくりを前向きに進めるべきではないでしょうか。

## ■国循が発表した、調査の報告概要■

### 1. 箕面市船場地区へ移転する場合の問題点

\* 移転誘致予定地の提案が数次にわたり変遷

\* センターが希望する土地全部を購入できない

\* 地権者、建物所有者及び営業者との交渉の目処が立たない

\* 延床面積6万㎡の既存建物の除却作業が大幅に遅延する恐れがある

\* 土地が不整形であり、センターの将来構想上制約がある

## ◆6月24日、25日の本会議傍聴へお越しください（10:00～本館3階）

6月議会の争点・・・約920万円かけて、150人の教職員が秋田県へ研修に。全国テストで1位になった教育を学ぶとか。何故150人も行く必要があるのか。加配教員にその予算を回してもらった方が、効果的、という現場の声も。本会議では、この補正予算をめぐる、討論・採決となります。

なお中西は、下記の一般質問をおこないます。

- ① 子宮頸がんワクチンの副反応問題について
- ② 国立循環器病研究センターの誘致問題と今後の船場のまちづくりについて
- ③ 公益通報制度の運用をめぐる

## ◆議会改革の検討が始まっています

専門部会 6月27日 10:00～

どなたでも傍聴できます。

みなさんのご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。